

令和7年9月

発行/編集 杉並区立向陽中学校 学校運営協議会

〒168-0073 東京都杉並区下高井戸3-24-1

電話:03-3302-2989 FAX:03-3302-5736

http://www.suginami-school.ed.jp/kouyoucyu/

向陽中学校 学校運営協議会

第42号



ご挨拶

皆様、いつも運営協議会へのご支援をありがとうございます。今年度は校長および副校長先生が揃って変わられた事情もあり、引き続き会長を務めさせて頂く事になりました。何卒宜しくお願いいたします。

向陽中学校が対象となっているコミュニティスクール(地域運営学校)の中心的役割を担う学校運営協議会は、①校長が作成する学校運営の基本方針を承認す ②学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べる事ができる ③教職員任用に関して、教育委員会に意見を述べる事ができる ④学校に必要な支援について協議する、を主な役割としています。現在の社会的な要請を背景として、時に第三者的な目で学校側に意見し、かつ協力しながらより良い学校の在り方を希求しております。

さて、私が向陽中学校運営協議会の委員になった数年前は、生徒は来訪する大人に対して大きな声で「こんにちは」と、常に挨拶する習慣が根付いていました。本当に良い伝統だとしみじみ思ったものですが、コロナ禍もあり、だんだんとそれが失われつつあることを寂しく感じております。

時代と共に、学校を取り巻く社会の様々なことが変わっています。中学校という場所で、学力を高めることが最重要であることは論を俟ちません。しかし同時に、自立した大人になるための入り口であることに変わりはありません。挨拶が出来ること。相手の立場になって考えることが出来る人になること。生徒の皆様には、これらを意識しつつ様々な経験をして頂いて、素敵な大人になっていただきたいと切に願っております。

私たち運営協議会は、少しでも生徒の皆さんのお役に立てるよう、前向きに話し合い、取り組んで行きたいと思います。

SEP. 2025

New
Message!



杉並区立向陽中学校
学校運営協議会 会長

十亀 章子



「地域と学校が手を取り合い、未来を拓く」

保護者や地域の皆様、学校運営協議会と学校支援本部の皆様、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただき、心から感謝申し上げます。今回は、私が学校運営協議会に期待することについてお話をさせていただきます。

本校は、地域に根ざした学校として、地域社会との連携を重視した教育活動を展開しております。その要となるのが、学校運営協議会や学校支援本部です。学校運営協議会は保護者、地域住民、学識経験者など多様な視点をもつ方々が集まり、学校運営について意見交換や教育課程の承認などを行う場です。

学校運営協議会に期待することは、大きく分けて3点あります。

1. 地域や学校のニーズの的確な把握

少子高齢化、グローバル化、情報化など、社会構造が大きく変化する中で、学校教育に求められる役割も多様化しています。地域社会や学校のニーズを的確に把握し、教育課程や教育活動に反映させることで、地域に貢献できる人材育成を目指したいと考えております。そのためには、毎月の会議で学校の情報や課題を共有し、取り組み

たいと考えております。

2. 学校運営への積極的な参画

学校の教育目標や学校経営計画、学校評価など、さまざまな場面でご意見をいただき、学校運営の改善に繋げていきたいと考えております。また、学校行事や地域活動への参加を通じて、生徒や教職員と交流を深め、地域社会で子どもたちを育む体制を構築できればと考えております。

3. 学校と地域社会の橋渡し役

学校と地域社会の橋渡し役としてご活躍いただきたいとあり、学校の情報を地域社会に発信するとともに、地域社会の情報を学校に伝えていただくことで、相互理解を深めていただいております。また、地域人材の活用や地域資源の活用など、地域社会の協力を得ながら、特色ある教育活動を展開していきたいと考えております。

最後に、これからも本校の教育活動をより一層発展させていただけるよう、共に教育できる（共育）システムを構築できるようにしていきたいと考えておりますので、ご指導・ご協力よろしくお願い申し上げます。

Topics!

教員と学校運営協議会委員の合同研修会

7月23日（水）
向陽中図書館

テーマ「明日も来たくなる学校」



7月23日、学校運営協議会前に、先生方と合同研修会を開催いたしました。全教員、委員が、事前に自己紹介のスライドを作成し、それを基にそれぞれの想いを伝え合いました。その後、テーマについてグループディスカッションをいたしました。地域行事や職場体験などを通して、生徒達が地域と接点を持つことの大切さや、公教育の重要性など、さまざまな意見が活発に交わされました。最後に、高津校長先生より、生徒達が改めて学校の良さや魅力を感じるように、仕掛け作りを行ってほしいことや、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、共に取り組んでいただけたらと話されました。

第1回 4/23 水

高津新校長より「学校教育において、インクルーシブにしっかり取り組んでいきたい。本質を大切にしながら、新しいものを取り入れる姿勢を積極的に行っていききたい。また、学力向上や人との関係づくりも重視であることや、そのためには、授業力と学級経営力が必要である」との挨拶があった。

- ・学校経営方針の説明があり、承認された。
- ・部活動の地域移行について、サッカー部を廃部としていたが、4月よりKSCCへの移行を前提とし活動をスタートした旨報告があった。
- ・学校運営協議会アンケートについて、継続性を踏まえ、令和7年度も同じ方針で実施するの可否を検討とする。
- ・会長選任：十亀章子、会長職務代理：齋藤佳子。
- ・本年度の学校運営協議会の開催回数は、10回とする。

委員より

・昨年度、校則について議論を行った。「中学生らしい」とはということか、既存の校則にはなんの意味があるのかなども含めて、校則を生徒が主体的に考える方向で検討し、学校経営計画でも取り組むことを期待したい。

第2回 5/22 木

- ・校長より、フレンドシップスクールに1年生全員が参加し、無事終了した旨報告があった。
- ・主幹教諭の紹介と役割について説明があった。
- ・第78回運動会は、5月31日(土)雨天の場合3日(火)開催予定。
- ・学校運営協議会アンケートについて、先生自身がアンケートをもとに振り返り、授業改善などに繋げるためのものとしたい。学校側が実施するアンケートとの兼ね合いを見据え、過去のアンケートを参照してから、今年度の方針を定めるとする。
- ・協議会日程について再調整を行った。
- ・PTAより、第1回運営委員会を5月に開催し、本年度の事業計画、予算を策定。また、周年に向けた積立金の活用計画策定について報告があった。
- 併せて、会員数についても報告があった。

質疑応答

Q(委員) .校則について、以前の会議で、ツーブロック禁止について議論になった。理由について説明ができる校則と、そうではない校則がある。

A(学校) .「中学生らしい」という表現も、「学習の場にふさわしい華美でない」と、表現を変えた。

Q .昇降口に、新潟県立海洋高等学校のポスターが貼ってある。ぜひ、東京都立大島海洋国際高校も広めてもらいたい。実習船なども充実している。

A .新潟県立海洋高等学校は他府県からの生徒募集を行っているため掲示している。

第3回 6/17 火

- ・運動会は、5月31日から雨天延期となり、4日水曜午前に開催されたと報告があった。
- ・18日から3日間の日程で、期末考査が始まると説明があった。
- ・先週の土日、定期考査前に開催された「KOYOスタディ」では、卒業生他ボランティアとしてお手伝いいただいている方々も含め、総勢70名で実施されたと報告があった。
- ・3年生については、期末考査後、長崎への修学旅行を実施予定。平和学習をベースとして、体験学習なども取り入れていきたい旨説明があった。
- ・教員と学校運営協議会委員の合同研修会のテーマについて討議した。
- ・いじめ事案について報告があった。

委員より

・境界知能に関して説明があった。境界知能で困難を抱えている人達が、日本の人口の7人にひとりいるとされている。境界知能について、世の中に認知されることが必要であり、知識を持って理解することが必要である。

第4回 7/23 水

- ・教員と学校運営協議会委員の合同研修会。テーマ「明日も来なくなる学校」について。
- ・修学旅行実施について報告があった。次年度に向けて一考の余地があると思っているが、良い修学旅行になったと報告があった。
- ・2年生の職場体験について無事終了の旨報告があった。
- ・前回報告したいじめ事案については、落ち着いてきているが、同じことがないように再発防止に努めている。
- ・学校支援本部の構成について、学校側より提案があった。

質疑応答

Q(委員) .AIを含めたICT機器の使用でどのような教育実践をしているか？

A(学校) .情報モラルを培うための授業を行った。また、保護者の場において、協力理解を求めた。

Q .第1回協議会で話題になったサッカー部の地域移行について進捗状況を伺いたい。

A .地域移行で始動と進めていたが、課題が見つかり思案中である。今年度は、休日については保護者に適任者がいたのでお願いした。

Q .予算との兼ね合いもあると思うが、部活動指導員制度の活用状況について伺いたい。

A .現在、吹奏楽部、ダンス部に部活動指導員を置いている。現役の教員も兼任は可能だが、杉並区にはそのような制度が整っていない。

委員より

・部活動について、部活動指導員制度の教職員への適用可能性や、中学校進学時の進路選択に對する部活動の影響などについて議論を行った。



R7 学校運営協議会 委員紹介

令和7年度



会長



十亀 章子

地域コーディネーター

委員



入江 優子

東京学芸大学
こどもの学び困難支援センター

委員



荻上 健太郎

東京学芸大学
教育インキュベーションセンター

委員



桐野 亜希子

元PTA会長
落語家

委員



齋藤 佳子

高三小学校支援本部長
民生委員・児童委員

委員



寺尾 恵子

ゆうゆう永福館施設長
カフェ運営

委員



原田 崇史

弁護士

委員



深井 敏行

元特別支援学校 校長
明星大学教育学部 客員教授
保護司 卒業生

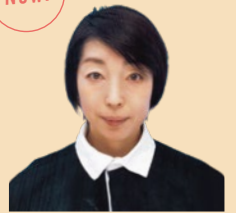
委員



福島 俊介

会社員

委員



水野 園子

PTA会長

委員



高津 憲

向陽中学校長

